



こんにちは、おたまじゃくしさん！

おたまじゃくしを育てているさかなグループさん。初めは弱々しく、みんな心配していましたが、ご飯を食べてくれるようになり、日に日に元気になりました。「あ、あしがはえてる！」と、まずは後ろ足。そして前足も生えて先日、カエルさんになりました。毎日、成長を楽しみに観察していますよ。

また、ホールでは自分たちがおたまじゃくしや、カエルになりきって体を動かしてあそんでいます。おたまじゃくしが泳ぐように、リズムに合わせて走ったり、かえるジャンプで縄跳びやフープを跳びます。絵本「999ひきのきょうだい」でカエルたちがしていたかくれんぼあそびもしてみましたよ。タフロープのれんに隠れたり、パラバルーンに隠れて、へび役の保育者に見つかると、「きゃー！」と元気よく逃げ回ります。「もうっかい！」と何度も楽しみ、気分はすっかり“999ひきのきょうだい”です！



さくら・ばら ～ゆりさん、いってらっしゃい！～

お泊り保育出発の日。元気いっぱい「いってらっしゃい！」と送り出してくれた、ばらさん・さくらさん。いつもはゆりさんがリードしてくれるテーブル拭きやベット運びは、保育者の「ばらさん手伝ってほしい！」の呼びかけでハッと気づいて“じぶんたちががんばるんだ”という気持ちで取り組んでくれました。さくらさんも、お着替えの時に手伝いしてくれるゆりさんがいなくて、「じぶんでがんばる！」と言って頑張ってくれていました。次の日、ゆりさんが帰ってくると「おかえり！」と嬉しそうにお相手さんに抱き着く姿も見られ、「がんばったね！」と言ってもらえてとっても嬉しそうにしていました。お泊り保育の絵や写真を見て、「〇〇もおとまりいきたいなあ。」と目をキラキラ輝かせる子どもたち。お泊り保育はゆりさんだけでなく、ばらさんさくらさんの心にも響かせてくれました。

ゆり ～たのしかったよ！お泊り保育～

6/13～14、八瀬のお泊り保育がありました。お泊り前の1カ月、ゆりさんだけで過ごす時間を多くとり、準備を進めてきた子どもたちでしたが、お泊りの週には、緊張する様子も見られました。しかし、当日はその緊張も楽しみに変わり、さくらさんばらさんに「いってきまーす！」と元気よく声をかけて出発しました。八瀬に着くと、さるの見張り台まで山登りを楽しみ、魔女さんの家では、手紙と魔法のあめをもらいました。お相手さんへのプレゼント作りをしたり、池ではいろいろな生き物を見つけました。楽しみにしていたお風呂に入り、カレーライスを食べた後はみんなで作ったキャンドル台に火を灯し、キャンドルサービスを楽しみました。寝る準備をする頃には、家に帰らずお泊りをすることを実感する様子も見られました。ドキドキしていたお友だちも、お布団に入るとすぐに夢の中へ…ぐっすり眠ることで、たくさんあそんで疲れた体を休ませました。翌朝、おうちの人と離れてお泊り出来たことで自信がついた子どもたちの表情が印象的でした。

お泊りでの経験を自信に、それぞれのグループに帰っても、ゆりさんらしく、ゆりさんだからできることに前向きに取り組み、力にしていってまいります。そんなゆりさんの姿を、ばらさんさくらさんにも届けていきます！



〈折染めのあじさい作り〉

障子紙を三角に折っていき、好きな色水で染めました。「あじさいのいろみたいにきれい！」と、それぞれ違った色にわくわく。子ども達にアイデアをもらい、丸めた新聞紙を包んで、あじさいを作りました。自分で出来る所は自分で、難しい所はお友達同士で手伝ってくれましたよ。



〈いっしょだね〉

今月も、2項式、3項式、赤青棒、幾何ダンス、つむぎ棒・・・と様々な感覚教具に触れて楽しんでいます。先月の園日より紹介出来ない感覚教具の紹介をします。子どもたちが大きい、小さい、長い、短い、丸い、四角い、重い、軽い・・・などを、見て・聞いて・触れて・感じて、と楽しんでいるものです。

〈つむぎ棒〉

1~9までの数字のお部屋に同じ数のつむぎ棒を入れて、最後に0のお部屋に何も入っていないことを確かめて、「0」は「なにもなし」に気づくあそびです。音を鳴らしながら入れることで感覚で覚えます。



〈数字ハンコ〉

0~9までの数字のハンコを「1」「2」「3」...と言いながら数字に触れ合っていきます。数字が切れてしまわないように、丁寧に押すことも大切です。



〈2項式〉

箱の側面の赤を蒼の色や形を合わせて、四角のキューブを組み合わせていきます。子どもは形合わせを楽しむ感覚であそんでいます。



〈3項式〉

箱の側面の色が、赤青黄の三色になります。四角のキューブを組み合わせた後、どの断面を切っても、赤青黄が同じように並んでいることを発見しています。

